日本ユニシス

XML Webサービスを用いて NTTコミュニケーションズと共同でIP電話申込受付システムを開発

日本ユニシスは、XML Webサービス（以下、Webサービス）を用いて、NTTコミュニケーションズ（以下、NTT Com）とともに、ISP／CATV事業者向けIP電話申込受付システム「カスタマ・コントロールシステム」を開発した。本システムは、IP電話の申込／解約手続きやオーダー状況確認を、WebサービスによりISPおよびISP経由でエンドユーザーに提供するものである。

NTT ComはVoIP技術を利用したIP電話サービス用「VoIP基盤ネットワーク」をISP／CATV事業者に対して提供し、多くのユーザーに利用されている。申込から開通までの時間を短縮し、申込後のオーダー状況をエンドユーザーがリアルタイムに確認できるようにするため、このたびNTT Comは、申込受付機能やオーダー状況照会機能をWebサービスとして提供し、ISPサイトのIP電話回線申込／解約受付システムと、NTT ComのVoIP用NW-OSSとが直接連携する企業間連携を実現した。さらに、今回のシステムはマイクロソフト.NETを採用して開発され、ISP側のJ2EE系システムと連携しているのでWebサービスの相互運用性を確保している。

今回の導入により、従来システムと比べて、次のようなメリットが得られる。①申込発生のつど、データがリアルタイムにNTT Comに渡されるため、回線開通までのリードタイムが短縮される。ゆえにISPはNTT Comにデータを渡す運用コストを削減できる。②エンドユーザーは、回線のオーダー状況をいつでも確認できる。ISPもエンドユーザーのオーダー状況を把握できる。③NTT ComとISP間で交換されるデータがXML形式のため、フォーマット変換の必要もなく、データ項目などの変更にも柔軟に対応することができる。

newsrelease-box@unisys.co.jp

CRCソリューションズ

京セラコミュニケーションシステムと協業し 日本初の指紋認証を採用したリモートアクセスサービスを戸田建設に導入

CRCソリューションズ（以下CRC）は京セラコミュニケーションシステム（以下KCCS）と、日本初の指紋認証を採用したリモートアクセスサービスで協業し、サービス提供することを発表した。なお、本システムはすでに戸田建設での採用も決定している。

社外からの社内ネットワークへのアクセスに際し、従来型の固定ユーザー名・パスワードを利用した認証方式はセキュリティ上なりすまし等様々な問題を抱えていた。CRCとKCCSでは、こうした課題を解決するソリューションとして、USBデバイスを利用した指紋認証システムを、ディー・ディー・エスと共同開発した。

今回の開発によりCRCとKCCSは、社外からインターネットを利用しSSL-VPNやIPSECを使うことで、社内ネットワークへセキュアにアクセスすることを可能とした。KCCSはこのシステムを同社が提供するモバイルアクセスサービスの新機能として、CRCはこのシステムを同社が提供する負荷分散型マネージドVPNサービスと連携している。マネージド認証サービスおよびマネージドSSL VPNサービスとして、相互利用し販売を行う。本システムでは、事前に登録済みの指紋特徴量と照合して指紋特徴量が合致した場合に、動的に変化するパスワードが発行され、そのパスワードによりSSL-VPNのログインが可能になる。

今回の協業で両社は、KCCSの最先端の認証・VPN技術を活用したデータセンタである「D@TA Center」と、CRCのトータルソリューション&フルサービスを提供するIX直結型データセンタ「OiDC」における付加価値型ネットワークサービスにより各企業のビジネスを支援していく。

CRCソリューションズ データセンター事業部
ネットワークソリューション部 03-3270-3859

日本ヒューレット・パッカード

ANAがオープンシステムで客室乗務員情報システムを構築

日本ヒューレット・パッカード（以下日本HP）と日本オラクルは、本日、全日本空輸（以下ANA）の客室乗務員情報システムをオープンシステムで構築したことを発表した。

客室乗務員情報システムは、客室乗務員の人事、資格などの情報を基本情報とし、各人のスケジュールを管理するシステムである。運航状況によって日々変化する勤務スケジュールや乗務編成を決定する際に使用される。Webブラウザにより、客室乗務員が、場所や時間にとらわれず、フライト先などの遠隔地でも最新情報を確認できるのが特徴である。本システムの最新版は、ANAの運航管理業務や乗務員管理を主とした社内業務システムの基盤となる共通データベースシステムと連携して、昨年10月から稼動を開始している。なお共通データベースシステムとは、日本オラクルのデータベースソフトウェア「Oracle Database」と同社の並列化技術「Oracle Real Application Clusters」を日本HPのUNIXサーバ上に構築したシステムである。

今回のシステムは、HP 9000 サーバ rp5470を４台で運用している。前回の構築時と比較すると、構築費は３割減、期間もおよそ半分に短縮された。インテグレーションおよび構築は、全日空システム企画と日本HPが行い、システムの保守・サポートも日本HPが担当している。さらにこのシステムは、ANAグループ800便／日の運航を支えるシステムとして、24時間365日のサービス提供を目指し、「Oracle Real Application Clusters」によるクラスタ構成に加え、「Oracle Data Guard」によるスタンバイシステムを配置している。万一障害が発生した場合でも3分以内でサービス復旧を保証し、ミッションクリティカルな業務をサポートする。

日本ヒューレット・パッカード㈱ カスタマー・インフォメーションセンター／TEL：03-5304-6660

マクニカ

東京法科大学院設立準備室へ無線LANソリューション「Airespace」を提供

半導体やネットワーク機器の輸入、開発、販売を手がけるマクニカは、青森大学東京法科大学院設立準備室（以下東京法科大学院）に対し、Airespace, Inc.（以下エアスペース社）の無線LANソリューション「Airespace（エアスペース）」を提供した。

東京法科大学院は、法律家を志す社会人向けの夜間専門のロースクールで、2005年春の開校を目指して東京渋谷に設立準備を進めている。多数の学生が持参するあらゆるタイプのノートPCで簡単にアクセスでき、高度なセキュリティ対策を確保するインフラの中核として、マクニカの提供する無線LANソリューションAirespaceを導入した。採用のポイントとなったのは、電波管理機能によって電波干渉の問題をクリアし、かつ無線LANがもともと抱えている課題である容易なアクセスとセキュリティの確保という相反する要件を満たす画期的なシステムという点である。Airespaceは、強力な電波管理機能と不正電波自動検知機能による不正アクセスのコントロールなどのセキュリティ対策に優れている。建物の間取りにあわせたアクセスポイントの配置提案やチャネルの自動設定、またカバレージホール状況の画面上での確認も可能なので、無線LAN導入前の課題をスムーズに解決する。さらに、自動ロードバランスや高速ローミング機能、１台のアクセスポイントでの複数VLANのサポートなどにより、限られた帯域の中で効率的に電波を利用できるので、導入後も安心して無線LANを利用することが可能となる。東京法科大学院では今後、開校後の活用状況に合わせたシステム拡張も検討予定である。なお、システム構築はNTT東日本法人営業本部ソリューション第一営業部が担当した。

㈱マクニカ マクニカ ネットワークス カンパニー 広報企画担当／TEL：045-476-1960

今月のソリューション事例

アイログ

米インターネット・オークションサイト大手・イーベイ(eBay)がアイログのビジネス・ルール管理システムを用いてユーザーの利便性を向上

アイログ社は、米eBay（以下イーベイ）社が同社のインターネットオークションサイト「World's Online Marketplace 」においてILOG Jrules™ BRMS（ビジネス・ルール管理システム、以下ILOG Jrules）を採用したことを発表した。

イーベイでは、複数のアプリケーションにわたってILOG Jrulesをベースに標準化を進め、オークションサイトでの商品の購入および販売に関するビジネス・ルールを管理する統一プラットフォームを構築した。そこでILOG Jrulesの利用によりイーベイ全部門の社員がビジネス・ルールを作成・管理することが可能になり、これによりルールの変更が迅速に業務へ反映させられるようになった。その上、新たな傾向が認識できるようになり、数分間でポリシーを更新することが可能となった。一方、ILOG Jrules の中央ルール・リポジトリによって、複数のサイトやさまざまな地域に関するルールを、迅速で拡張可能かつコスト効率の高い方法によって管理できるようになった。さらに、複数のアプリケーションでのマーケティングの強化や製品カテゴリ全般における応答時間の改善ができ、その結果、新製品やサービスの市場投入までの時間短縮を実現すると同時に、ユーザーの利便性を高めることができるようになった。イーベイのシステム開発担当部長であるジェームス・バレス氏は「イーベイでは、安定した、信頼できる市場をユーザーに保証する、世界クラスのテクノロジ・プラットフォームの提供に取り組んでいます。ユーザーのイーベイサイトにおける利便性を改善するために当社が継続中の取組みの一環として、ILOG Jrulesを採用しました」と語っている。

アイログ㈱ マーコム・コーディネーター／
TEL：03-5211-5770

ネットワーク・アプライアンス

米オラクル社が社内インフラの一部として1,000テラバイトを超えるNetwork Appliance™ ストレージを導入

米オラクル社はOracle Outsourcing、E-Business Suite開発、およびプラットフォーム・エンジニアリングを含む基幹インフラの一部としてNetwork Appliance, Inc.（ネットワーク・アプライアンス社、以下NetApp社)のストレージ・ソリューションを導入した。これによりインフラ全体で1,000テラバイトを超えるNetAppストレージが採用されたことになる。

オラクル社は、ストレージ・インフラのメイン・プロバイダとしてネットアップ社を採用し、次世代データベースおよびアプリケーション・ソフトウェアの構築および管理にNetApp FASシリーズ、NearStore 、およびNetCache システムを導入している。これにより、新しいオラクル・ソフトウェア・ソリューションの開発期間や品質保証サイクルが短縮され、製品市場投入がより迅速に進めることができる。また、オラクル社の開発インフラにNetAppソリューションが採用されているため、最新リリースを使ったオラクル環境においてのシームレスな互換性や導入が保証されたことになる。

今回の大規模な範囲での導入が行われたことにより、ネットアップ社のストレージ・ソリューションが拡張性や簡易性だけではなく、さまざまな基幹システムをサポートする堅牢性にも優れていることを実証した。

オラクル社Systems Platform Divisionバイス・プレジデントJuan Jones氏は今回の導入について次のように語っている。「ネットアップ社は、他社には見られないほど、管理が簡単で拡張性に優れたストレージ・ソリューションを提供しています。こういった強みは当社およびネットアップ社のユーザーにとって不可欠なものです。」

日本ネットワーク・アプライアンス㈱／
TEL：03-5251-3747

インターロジックス

CRM アプリケーションサーバ「Netsymphony」を東急リゾートのレコメンデーション・エンジンとして提供

CRM に関するコンサルティングからシステム開発までを一貫して手がけるインターロジックスは、東急リゾートのレコメンデーションシステムのエンジンに同社の「Netsymphony One to One Edition」(ネットシンフォニー・ワン・ツー・ワンエディション)を提供した。レコメンデーションとは、ホームページ上で商品紹介や情報提供をする際に、ユーザー個々のニーズに合わせ、多数の情報の中から自動的に抽出して推奨するシステムである。Web サイトを訪れた顧客のアクセス履歴や購買履歴などから、個人の購買傾向や趣味嗜好などを把握し、顧客毎に情報を最適化し提供する。顧客にとっては自分の欲しい情報にすばやくアクセスでき、また、提供企業にとっても顧客の商品購買率を高められるなど、双方にメリットが大きいサービスである。

Netsymphony One to One Edition は、インターロジックスの高性能CRM アプリケーションサーバNetsymphony に、顧客とのCRMサイトの構築に最適な機能を組み合わせたソリューションパッケージである。顧客の属性やアクセス状況を分析評価し、個々のユーザーに薦めるべき商品やコンテンツ等を自動表示するレコメンデーション機能や、ユーザーデータベース情報に基づいて、文章をパーソナライズ化し、お薦め商品やコンテンツを提示するメールコンテンツを生成できるOne to Oneメール機能などを提供する。インターロジックスならではの精度の高い分析により、顧客毎に最適化された情報提供が可能。顧客の満足度を高め、リピーターを増やす効果的なOne to One マーケティングを実現している。東急リゾートでは、同社の営業戦略の一環としてWebによる顧客の掘り起こしを狙い、レコメンデーションサイトを立ち上げた。

㈱インターロジックス 経営企画部／
TEL：03-3639-1122

日本アルカテル

シャンドン・ネットコム社にIP サービス・ルータを提供 中国山東省で電子政府のバックボーン・ネットワークを構築

通信システム・装置メーカー世界大手のアルカテルは、チャイナ・ネットコム社の子会社であるシャンドン・ネットコム社より、アルカテルの中国における旗艦会社、アルカテル上海ベル有限公司（Alcatel Shanghai Bell）を通じて、中国山東省の電子政府のバックボーン・ネットワークを敷設する契約を受注した。この新しいバックボーン・ネットワークは、各地に点在する山東省政府の事務局の既存ネットワークを、強化された仮想私設網（VPN）に統合し、アルカテルの先端製品、仮想私設LANサービス（VPLS）ソリューションのサポートによって、財務、医療、法務の執行など、異なる政府機能間における情報伝達を安全かつ効率的に統合すると共に、外部ネットワークへの接続を強化する。これにより、山東省政府はより大きな管理効率を達成することが可能となる。

今回の契約により、アルカテルはシャンドン・ネットコム社に対し、山東省の17都市を結ぶ電子政府のバックボーン・ネットワークを構築するため、同社のキャリアクラスのサービス・ルータ「アルカテル7750サービス・ルータ」を提供している。2004年3月に完成予定の本ネットワークによって、シャンドン・ネットコム社は、山東省政府に、様々な機能ユニットにおいて安全かつ信頼性の高い高品質の音声・データ・マルチメディアサービスを全レベルにおいて提供することができる。アルカテルのIP事業部プレジデントであるバジル・アルワン氏は今回の契約について次のように語っている。「アルカテルは、新しいサービスを提供することのできる革新的なキャリアクラスのIPネットワーキングソリューションを提供する世界のリーダーです。今回の受注により、中国のIP／データ市場におけるアルカテルの地位が強化されます。」

日本アルカテル㈱／TEL：03-5715-6300